

図書室通信



社会教育センター図書室
☎ 28・5449

休館 資料整理のため、3月31日(日)は、図書室をお休みします。

ゆめっ子のおはなし会

ボランティアグループによる楽しいおはなし会を開催します。ぜひ親子そろってご参加ください。

- ▶ **と き** 3月16日(土) 午後1時30分から
- ▶ **ところ** 社会教育センター幼児遊戯室
- ▶ **対 象** 小学校低学年、幼児

絵本の森

ボランティアグループによる大型紙芝居や絵本の読み聞かせを行います。ぜひ親子そろってご参加ください。

- ▶ **と き** 4月6日(土) 午前10時30分から
- ▶ **ところ** 社会教育センター幼児遊戯室
- ▶ **対 象** 小学校低学年、幼児

新刊

児童書

あめいぬ

おくはら ゆめ え
工藤 有為子 ぶん
(講談社)



泣いてる子にあげようとしたあめだまが、ぼくの手の上でちいさな「あめいぬ」になった！いちご味、ぶどう味、レモン味に、チョコレート味。「あめいぬ」が、涙をべろんとなめてくれたら、み～んなえがおになれるんだ。

一般書

北辰の門

馳 星周 著
(中央公論新社)



時は天平。出世の階段を駆け上がる藤原仲麻呂は危険な野望を秘めていた。次代の天皇である阿倍内親王の仲麻呂への恋慕の情が憎しみに転じた時、時代の歯車が軋み始める一。

一般書

一夜

今野 敏 著
(新潮社)



竜崎のもとに、著名作家・北上輝記が小田原で誘拐されたという一報が入る。北上の友人でミステリ作家の梅林も絡み、一風変わった捜査が進む。一方、警視庁管内では殺人事件が発生し…。

一般書

50歳からの読書案内

中央公論新社 編
(中央公論新社)



50歳は「人生100年時代」の折り返し地点。後半戦をどう生きるか考えるとき、ヒントとなり支えにもなる本とは。各界の著名人が50冊を紹介。

編集後記

真冬の寒さが過ぎ、別れの季節である3月となった。卒業、就職、転居などによって、慣れ親しんだ人間関係や環境に別れを告げることは、不安な方も多いと思う。しかし春は別れもある一方で、新たな出会いもある▼今月の24日には2回目となる豊山町協働フォーラムである「あつまれ！とよやまの森2024」を開催する▼このイベントでは、豊山町に関わる様々な団体やサークルが、それぞれの「趣味」や「好きなこと」、「個性」を生かして展示やワークショップ、パフォーマンスを行う。多くの人が楽しみながらそれぞれの活動を知り、興味をもっていただくことで、協働のまちづくりを進めることを目的としている▼新年度を前に、団体やサークルの活動に興味のある方は、ぜひともとよやまの森に足を運び、新たな仲間、そして新たな自分と出会う機会としてほしい。